

若手研究者・大学院生向けの

「日本体育・スポーツ・健康学会入会に関する Q&A」(よくある質問)

一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会(旧 日本体育学会)は、1950年に発足された伝統ある学会です。現在は会員約6,000名であり、体育学/スポーツ・健康科学の研究領域における国内最大の学術研究団体となっています。今日まで本学会は、情報化やグローバル化を背景として社会環境等が変化し、科学技術等が目覚ましい進歩を続けることなども踏まえながら、次代を見据えた研究成果を積み重ねてきています。今後も、体育・スポーツ・健康の分野における発展のために、その役割が期待されています。

そこで、本学会の使命である体育・スポーツ・健康に関する研究を進め、体育学/スポーツ・健康科学の学問分野を継続的に発展させるためには、若手研究者・大学院生の存在が欠かせません。若手研究者・大学院生こそが、次代の学界を担う人材となります。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

Q 日本体育・スポーツ・健康学会に入会すると、何ができるのですか？

A 原則として毎年(例年8月~9月ごろ)開催される学会大会で研究発表を行うことができます。また、本学会の学術誌である「体育学研究」に筆頭著者として論文を投稿することが可能です。さらに、本学会に関連する各種イベントの案内がメールや郵送で届きます。

Q 日本体育・スポーツ・健康学会と、他の専門領域学会との違いは何ですか？

A 日本体育・スポーツ・健康学会の学会大会では、体育学/スポーツ・健康科学に関する様々な専門領域の研究発表やセミナー、シンポジウムが一堂に会するため、様々な分野からの情報を得ることができます。特に、2021年度の学会大会からは5つの応用領域(「スポーツ文化」、「学校保健体育」、「生涯スポーツ」、「競技スポーツ」、「健康福祉」)ごとに解決すべき重要な社会的課題を設定し、これに対応したシンポジウムと研究発表を実施することとなりました。領域横断的に学際的な議論を活発化して、研究を進展させる貴重な機会と言えます。

Q 入会の手続きはどのようにして行えばよいですか？

A 入会には、会員1名による推薦が必要です。日本体育・スポーツ・健康学会のホームページから入会申し込みを行い、推薦書の提出を行ってください。詳しくは、ホームページの「入会・各種手続」「入会のしおり」をご覧ください。

(<https://taiiku-gakkai.or.jp/admission>)

Q 推薦者はどのようにして見つければよいですか？

A 大学院生の方は、指導教員や学内の教員が日本体育・スポーツ・健康学会の会員の場合、その方に推薦者になってもらってください。推薦者がいない場合は、日本体育・スポーツ・健康学会事務局までご連絡ください。（<https://taiiku-gakkai.or.jp/Inquiry>）

Q 年度会費はいくらですか？また、どのようにして払い込めばよいですか？

A 入会金は1,000円（初年度のみ）、年度会費は10,000円です。また、任意で、地域協力学会、専門領域に入会することができ、その会費が別途かかります。各地域協力学会会費、専門領域の会費については日本体育・スポーツ・健康学会ホームページの「入会・各種手続」内の「諸会費一覧」をご確認下さい。（<https://taiiku-gakkai.or.jp/admission>）

払込方法は、初年度は入会時に振込で支払い、次年度以降は原則として自動引き落としにて会費を納入することになります。クレジットカードでの支払いには対応していません。

Q 地域協力学会や専門領域には必ずどこかに入会しなければならないのですか？

A 地域協力学会や専門領域への入会は任意です。また、複数の地域協力学会や専門領域に入会することもできます。

Q 論文の投稿を考えていますが、日本体育・スポーツ・健康学会にはどのような学術誌がありますか？

日本体育・スポーツ・健康学会の機関誌には、「体育学研究」（和文誌：オンライン）、「International Journal of Sport and Health Science」（英文誌：オンライン）があります。「体育学研究」誌は、筆頭著者は本学会会員に限ります。受理された論文の掲載費は、著者がすべて本学会会員の場合は無料です（著者に非会員が含まれる場合には、ページ数に応じた掲載費がかかります）。

「International Journal of Sport and Health Science」誌は、本学会会員・非会員を問わず論文を投稿することが可能です。受理された論文の掲載費は無料です。

詳しくは、日本体育・スポーツ・健康学会ホームページの「機関誌」をご覧ください。

（<https://taiiku-gakkai.or.jp/kikanshi>）

Q 日本体育・スポーツ・健康学会の会員数はどれくらいですか？また、大学院生や若手の会員は何名くらいいますか？

A 本学会の会員数は5,687名です。大学院生・若手研究者にも様々な年齢の方がおられ一概にはまとめられませんが、ひとつの基準として、40歳未満の会員は1,722名となっています。（数字は2026年3月現在）

Q 一度退会すると、再入会できなくなると聞きましたが、本当ですか？

A そのようなことはありませんが、再度、新規入会手続きが必要になります。

Q 「若手の会」とは何ですか？また、若手の会ではどのような活動を行っていますか？

A 若手研究者委員会のメンバーが世話人となり、2018年8月に結成されました。現在は、学会大会における若手研究者を中心としたシンポジウムの立案と開催、講演や研究発表会などの開催に関する意見交換、メーリングリスト等を用いた情報共有を行っています。若手の会メーリングリストには、現在約500名の会員が登録しています。若手の会メーリングリスト会員に向けては、毎月「若手研究者紹介コラム」を発信するとともに、本学会および関連学会等によるシンポジウムやワークショップ等の開催案内、研究助成金制度の案内等の情報を随時発信しています。

また、2020年度より毎年1回、若手の会セミナーを開催しています。

2020年度は「グローバルキャリアネットワークの構築～なぜその道を選んだの？～」、2021年度は「キャリアの広げ方」、2022年度は「アーリーキャリアの過ごし方と必要なサポート - 博論・就職・テニユア -」、2023年度は「研究者に求められる役割とキャリアーいかにバランスを取りキャリアを考えるか」、2024年度は「体育・スポーツ・健康科学分野における女性研究者の活躍推進に向けて」、2025年度は「成果の出なかった研究に意味はあるのか - 方法論を超えて考える探究のリアル」、をテーマに実施し、若手研究者を中心に情報提供や交流の場を提供しています。

詳しくは、日本体育・スポーツ・健康学会ホームページの「若手の会」をご覧ください。
(<https://taiiku-gakkai.or.jp/wakatenokai>)

Q 若手の会に会費や年齢制限はありますか？

A 日本体育・スポーツ・健康学会の会員であれば、若手の会には会費なしで誰でも参加することができます。また、年齢制限は設けておりません。若手研究者向けのさまざまな情報提供や活動を行いますので、関心のある方はぜひメーリングリストに登録してください。

詳しくは、「日本体育・スポーツ・健康学会若手の会 メーリングリスト登録用 URL」をご覧ください。
(<https://taiiku-gakkai.or.jp/survey/index.php/294322?lang=ja>)

Q 大学院生・若手研究者向けの会費の減免制度はありますか？

A 若手研究者委員会で減免制度についての提案を行いました。その結果、2020年度より常勤職にない40歳未満の会員を対象とした会費減免制度が導入されることになりました。詳しくは、日本体育・スポーツ・健康学会ホームページの「入会・各種手続」をご確認ください。
(<https://taiiku-gakkai.or.jp/admission>)

2026/03/24 更新

※上記ページ内の「会費減免を申請する方へ(対象:常勤職にない40歳未満の会員)」
に減免措置の詳細と申請書が掲載されています。